事業所名　沖縄市こども発達支援センター
（住所：沖縄市知花６丁目３６番２９号）

支援プログラム（児童発達支援）

作成日　令和６年４月１日

理念		こども達の個性をのばし、自立に向けた力を育む切れ目のない発達支援				
支援方針		【本人支援】こどもの特性やニーズに基づき、保護者と共に個別支援計画を作成し、療育活動を通して、こどもが自分のペースで成長できるようサポートします。 【家族支援】家族が抱える不安や悩みを理解し、必要な情報提供や相談支援、ペアレントタイムや親勉強会を通して安心できる環境づくりを目指します。 【地域・移行支援】保護者や関係機関と協力し、情報共有や支援の連携を図ります。 【専門性の向上】研修計画を策定し、研修や勉強会を通して、職員の専門性を高め、質の高い支援を提供できるよう努めます。				
営業時間		8 時　30 分から　17 時　15 分まで			送迎実施の有無	なし
		支　援　内　容				
本人支援	健康・生活	（健康状態の把握）定期的な発達チェックや嘱託医による内科健診・発達相談を行い、こどもの健康状態を把握する。 （生活リズムや生活習慣の形成）睡眠、活動、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に付けられるよう支援する。				
	運動・感覚	（姿勢と運動・動作の向上）療育活動を通して、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図る。 （感覚の活用及び特性への対応）保有する感覚（視覚、聴覚、触覚など）を十分に活用できるよう遊びの経験を積み重ねるとともに、感覚の特性や偏りに対して環境調整等の支援を行う。				
	認知・行動	（感覚・認知の活用）感覚を十分に活用し、必要な情報を収集することで認知機能の発達を促す支援を行う。 （空間・時間、数等の概念形成の習得）物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援する。 （行動の特性への対応）感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動特性への対応の支援を行う。				
	言語 コミュニケーション	（言語の形成と活用）具体的な事象や体験と言葉の意味を結びづける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 （コミュニケーションの基礎的能力の向上）大人や他児との相互作用を通して、指さしやコミュニケーション等の獲得を含めたコミュニケーション能力の向上を図る。				
	人間関係 社会性	（アタッチメントの形成）身近な人との関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人との安定した関係を形成するための支援を行う。 （自己の理解と行動の調整）大人や他児との関りを介して、自分の気持ちの調整ができるよう支援する。 （仲間づくりと集団への参加）大人が介入して行う連合遊びや共同遊びを通して徐々に社会性を育み、集団活動に参加できるように支援する。				
家族支援		・親子通園で保護者も一緒に療育に参加することで、こどもの特性を踏まえた関わり方や支援方法を学ぶ機会をもつ。 ・親勉強会やペアレントタイム等の交流会を実施し、子育てに関する学びや情報共有が行われる場をもつ。 ・必要に応じて専門職との面談・相談する機会をもつ。			移行支援	・移行先の関係機関と支援内容の情報共有しながら、こどもが安心して過ごせる支援方法や環境づくりを一緒に考えていく。
地域支援・地域連携		・こどもが通う保育所、幼稚園、事業所等との情報連携や調整・支援方法等に関する相談支援等を行う。			職員の質の向上	・職員の資質向上の支援に関する研修計画を策定し、研修の実施又は研修の機会を確保し、必要な知識・技術の習得、維持向上を図る。
主な行事等		・夏まつり　・親子ふれあいフェス　・クリスマス会　・市内保育所、幼稚園との交流保育　・音楽療法 ・むーち一体験　・園外保育　・誕生会　・ペアレントタイム（保護者交流）　・親勉強会　・おわかれ会				
活動内容		・感覚あそび　・戸外活動　・運動あそび　・手指あそび　・触れ合いあそび　・言語訓練				